

SDGs～持続可能な取組～

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



歴史と伝統ある王寺小学校をみんなの心に残そう

王寺町立王寺小学校

全学年

生活・総合的な学習の時間

めあて

学び舎への感謝を込めて、学校・地域・家庭が一つになって閉校カミングデーを開催し、卒業生や地域の方に王小での思い出を語り合ってもらおう

【地域ボランティアのサポートのおかげで】

本校では10年以上前から地域とのつながりを大切にした教育活動を進めています。令和元年度には、地域コーディネーターを中心に、活動日数203日、延べ800人を超えるボランティアの方が教育活動（読み聞かせ、外遊びチャレンジ、栽培、裁縫、習字等）を支えてくださいました。学校の応援団として当たり前のように傍にいてくださる力強い存在です。

【PTA有志による閉校イベント実行委員会の結成】

創立147年の本校は、令和4年度に義務教育学校として再編されることから「閉校までに王小へ行きたい。校舎の中に入りたい」と本校を愛する卒業生や地域の方から多くの声があがりました。悩んだ末、PTAに相談したところ、「イベントを開催しましょう」「なつかしの校舎で思い出を語ってもらいましょう」と旧役員の方々が名乗りを上げ、閉校イベント実行委員会を立ち上げてくださいました。それから約3ヶ月かけて、総勢50名のボランティアの方々がイベントの企画から当日の運営までの業務を担ってくださいました。その勢いによって、本校教職員も在校生も一丸となり、学校への「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて、作品づくりに取り組みました。

【閉校カミングデーの主な内容】

- 王寺町ジュニアバンドによる演奏会
- 王小の今昔写真展示・スライドショー
- 沿革史等
- 各学年の展示作品

- 1年生：朝顔リース（命の教育「一人一鉢」）
- 2年生：いもほりの絵（農業委員さんの畑で収穫）
- 3年生：毛筆による校歌（地域の達人が伝授）
- 4年生：モザイクアート
- 5年生：QRコードで教室紹介
- 6年生：卒業制作時の年代のエピソード紹介

【イベントを終えて ～2000人を超える卒業生や地域の方が来校～】

「王小が大好きでした。」「木造校舎の写真が懐かしかったです。」「親子3代通わせてもらいました。」

「ボランティアの熱意と、一人一人の特技を生かした企画や運営により、イベント当日は多くの人の笑顔を見ることができて、苦勞が吹き飛びました。（実行委員長より）」

【地域とともにある学校を目指して】

本校が地域に愛され、見守られてきたことに改めて気付きました。義務教育学校になっても地域の力を借りて教育活動を進めるとともに、地域にとって大きな存在であり続けたいと思います。



メッセージボードへ思い出を書き込む卒業生



特技を生かして楽しく作業中